

復職先企業及び病院（主治医）との相談整理シート

①復職先企業の担当者に相談・確認すること

- ・ 復職時に想定する職務の内容
- ・ 想定する勤務時間等（出社時間、休憩時間、体調不良時の対応方針）
- ・ 就業場所の環境（バリアフリー設備の導入や職務をサポートする職員の配置の検討）

②病院（主治医）に相談・確認すること

- ①で確認したことを踏まえて、復職した際に企業に配慮（対応）を求めること
- ・ 症状を踏まえて復職後に本人に自己管理を求めること

③復職を目指して自分自身や家族が不安や心配に感じていること

※当センターによる復職を目指した支援を始める段階では、当センターの障害者職業カウンセラーが③を踏まえた上で①と②をすり合わせながら、具体的な支援内容及び到達目標を提案します。

(ご案内)

＜当センターによる復職を目指した相談及び支援の流れ＞

○STEP 1

- 当センターの利用を検討される場合は、まずは当センターにご連絡ください。
(本人やご家族、病院の相談員からご連絡をいただくほか、復職先の企業担当者からの問い合わせも多くいただいています。)
- 当センターの障害者職業カウンセラーが、本人(家族)や企業担当者に現状をお聞きします。その際に、本相談シートの①～③について、その時点の状況を確認します。

○STEP 2

- 病院での日常生活への復帰を目指したリハビリテーションから、次の段階の復職を目指した支援に移行する段階で、具体的な支援プランを作成します。
(支援プランの作成にあたっては、職業能力を把握するための検査や当センターに数日通所しての作業検査を受けていただき、詳細な状況把握をします。また、復職先企業に対して無理なく復職を実現させるための受け入れ準備の方法について、提案します。)

○STEP 3

- 本人(家族)、復職先企業双方の同意に基づき、復職に向けた支援を開始します。

●本人に対する支援(例)

…病院のリハビリで獲得した高次脳機能障害の症状に対応した代償手段を、復職後に活用することを目指した訓練の実施(当センターに2か月間通所)

●復職先企業に対する支援(例)

…企業担当者に想定する職務や勤務時間等を確認した上で、職務の再構築や職場環境の調整についての提案の実施

…復職する部署の上司・同僚に対する高次脳機能障害の基礎知識に関する社内研修の実施(当センターの障害者職業カウンセラーが企業を訪問)

○STEP 4

- 復職後は、職場定着を目指した支援を行います。

●本人に対する支援(例)

…当センターのジョブコーチが定期的に復職後の職場を訪問し、想定する職務の遂行状況や体調を確認するとともに、それに応じた配慮や改善が必要な事項を提案(3か月間のジョブコーチ支援)

●復職先企業に対する支援(例)

…当センターのジョブコーチが定期的に復職後の職場を訪問し、企業担当者に本人の職務の遂行状況や本人に対する職場環境の配慮の状況を確認し、改善策を提案

⇒ 3か月間のジョブコーチ支援を終えた後は、必要に応じてフォローアップを実施

※各STEPの取組は一例です。その状況により内容や実施期間は異なります。